

情報公開文書

S26-23

研究課題名	潰瘍性大腸炎における腸炎関連性発癌（colitis associated carcinoma:CAC）に関する多施設共同後ろ向きコホート研究
研究期間	診療録の検索期間として、 2004年4月1日から2014年3月31日までの10年間
研究の目的と意義	多施設共同で、これまで過去に発症した炎症性発癌の発症率を調査するとともに、患者背景因子を詳細に検討し、炎症性発癌の high risk 因子の同定、サーベイランス内視鏡の検査方法の確立を目指すことを目的に、参加協力施設で過去10年間（西暦2004年4月から西暦2014年3月まで）に治療を受けられた患者さんのデータを収集します。収集されたデータについて解析・公表することによって、潰瘍性大腸炎の患者さんの医療・福祉に貢献できると考えられます。
研究方法	過去10年間（西暦2004年4月から西暦2014年3月まで）に治療を受けられ、本研究の基準に当てはまる患者さんの診療録の中から必要なデータだけを用い、全施設で診療された潰瘍性大腸炎患者数を対象にCAC発生率を計算します。 また、調査した各項目の因子の比や平均値を検討し、潰瘍性大腸炎における炎症性発癌の傾向を調査します。 データは匿名化されるので、プライバシーの侵害は起こりません。患者さんの個人を尊重し、個人情報に厳重に保護し、取り扱いには十分留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施しております。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 消化器内科 医長 河村 卓二 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）